

① 制度の概要

東京都内の民間美術館・博物館等が、**外国人旅行者の受入環境を整備**するための補助金制度です。多言語対応の強化、デジタル技術の活用、キャッシュレス決済の導入、バリアフリー化など、国際観光都市としての標準的なサービス導入を支援します。

令和7年度から令和11年度までの**5年間で合計1,000万円**まで申請可能で、各年度に分けて計画的な環境整備を進めることができます。展示解説の多言語化やデジタルサイネージ導入など、訪日観光客が快適に鑑賞できる施設づくりを推進します。ミュージアムショップ等の商品販売エリアは、**展示スペースに付随する場合のみ**補助対象となります。

② 支援内容

補助対象経費の**2分の1以内**を補助。1施設当たり**1,000万円**を上限とします。令和7年度から令和11年度までの**5か年の合計額**が上限に達するまで申請可能です。

最大1,000万円

補助率：1/2

③ 対象となる取組

【多言語対応の改善・強化】

- パンフレット・HP等の広報物の多言語化
- 音声ガイド機器の導入・更新
- 案内板・展示解説等の多言語化
- 多言語対応可能な職員・ボランティア育成

【情報通信技術の活用】

- 無線LAN環境の導入・更新
- デジタルサイネージの導入・更新
- 通訳アプリの導入・更新
- デジタルを活用した新たな鑑賞・展示方法

【その他の取組】

- クレジットカード・電子マネー等決済機器
- 敷地内のバリアフリー化
- 避難経路の表示の多言語化
- 混雑状況表示システム・時間指定チケット

④ 対象者

- **登録博物館**：東京都教育委員会が登録した施設
- **指定施設**：東京都教育委員会が指定した施設
- **その他の施設**：年間100日以上開館し一般公衆に公開する都内施設

※民間事業者等が管理運営する施設に限ります。国・地方公共団体所有で民間委託の施設は対象外です。

⑤ 採択率向上のポイント

- **外国人目線の具体性**：訪日観光客が実際に困る場面を想定し、**具体的な課題解決策**を提示することが重要です。
- **複数事業の組合せ**：多言語化とデジタル技術を組み合わせるなど、**相乗効果が見込める計画**が評価されます。
- **効果測定の明示**：外国人来館者数の増加目標や満足度調査など、**定量的な効果指標**を設定しましょう。
- **5か年計画の戦略性**：単年度ではなく、5年間を見据えた**段階的な環境整備計画**を示すと説得力が増します。

⑥ 戰略的分析

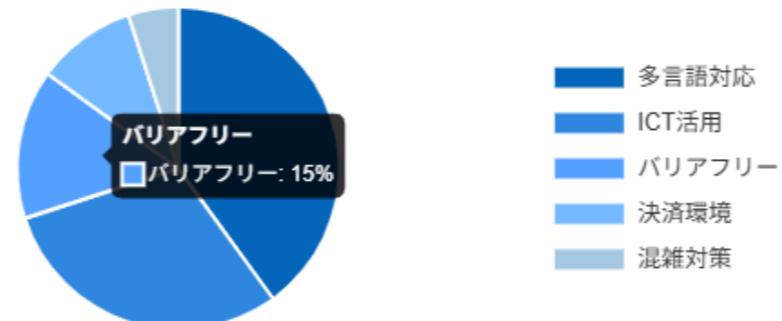
【インバウンド需要の回復局面】

- 訪日外国人観光客数は**コロナ前水準を超える勢い**で回復中です。
- 東京都は**2030年に3,000万人**の外国人旅行者受入を目指しています。
- 文化体験型観光への関心が高まり、**美術館・博物館の重要性**が増しています。

【複数年活用の戦略的メリット】

- **初年度**：多言語化とWi-Fi環境整備で基盤構築
- **2~3年目**：デジタルサイネージやAR技術の導入
- **4~5年目**：バリアフリー化や混雑対策の高度化

⑦ 補助対象事業の分布



最多申請カテゴリー：多言語対応が全体の約40%を占め、次いで情報通信技術の活用が30%です。

複合申請：複数カテゴリーを組み合わせた申請が採択率向上につながる傾向があります。

⑧ 対象施設の種類と活用例

施設タイプ	代表的な活用事例
美術館	音声ガイドアプリ多言語化、AR作品解説
歴史博物館	展示パネル5言語対応、デジタル年表
科学館	体験型展示の多言語ガイド、混雑表示
産業資料館	製造工程の多言語動画、VR体験導入
文学館	作品解説の英語化、電子決済導入

⑨ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
交付申請書 (第1号様式)	<input type="checkbox"/> 施設の登録・指定状況 を正確に記載 <input type="checkbox"/> 補助金額の計算根拠を明確に
補助事業計画書 (別紙1)	<input type="checkbox"/> 外国人来館者の具体的課題 を明示 <input type="checkbox"/> 事業実施スケジュールの詳細
補助事業企画書 (別紙2)	<input type="checkbox"/> 費用対効果 を定量的に説明 <input type="checkbox"/> 見積書の添付 (3社以上推奨)
誓約書 (第2号様式)	<input type="checkbox"/> 暴力団排除に関する誓約事項 <input type="checkbox"/> 代表者の自署・押印
その他添付資料	<input type="checkbox"/> 施設の登録証・指定証の写し <input type="checkbox"/> 施設パンフレット・現況写真 <input type="checkbox"/> 設備導入の見積書

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/11/7作成】

⑩ 申請スケジュール

事前準備期間

GビズIDプライムアカウントの取得に1~2週間必要です。
見積書の取得や計画書作成に1~2ヶ月程度を見込みましょう。

申請受付期間

2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

郵送（簡易書留）またはjGrantsによる電子申請。
予算額に達した時点で受付終了となります。

審査・交付決定

申請後1~2ヶ月程度で審査結果通知
交付決定後に事業着手が可能です。

事業実施期間

交付決定日～2026年3月中旬
事業完了後、速やかに実績報告書を提出。

補助金交付

実績報告の審査後、確定通知を受けて請求書を提出。
交付は2026年3月末までを予定。

⑪ 問い合わせ

制度詳細 <https://www.tcvb.or.jp/jp/project/infra/museum/>

申請システム (jGrants) <https://www.jgrants-portal.go.jp/>

事業全般 東京都産業労働局 観光部 受入環境課
TEL：03-5320-4802

申請相談 (公財)東京観光財団 観光産業振興部

観光インフラ整備課

TEL：03-5579-8463

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）